

同志社大学

2011年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2012年 2月 20日提出

所 属	職 名	氏 名
経済学部	教 授	船橋 恒裕
研 究 題 目	少子高齢社会における経済と福祉問題	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本年度は、昨年度に引き続き、我が国の出生率の低下や少子化状況について、いかなる要因が大きな影響をおよぼすのか分析を行ってきた。具体的には、欧米の少子化対策制度を研究、日本との比較分析をし、今後の日本の少子化対策について研究してきた。</p> <p>また、時系列データを使って、医療や介護のサービスについて引き続き分析を行い。新しい社会保障政策および制度について研究を行ってきた。来年度は、さらに研究を行い政策提言していきたい。</p> <p>これらの研究に対して、個人研究費によるパソコンおよびその周辺機器の購入による研究の促進。同じく、書籍、雑誌類の購入による研究の促進とその成果となる論文の作成準備、講義内容についての充実化。学会への会費などの補助による研究の充実化が行われた。</p>	